

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:
KOJIRO YAMASHITA
Serial No.: To Be Assigned
Filed: Herewith
Confirmation No.: Unknown
For: FILM TRANSFER DEVICE

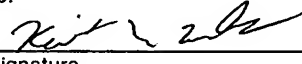
§
§
§
§
§
§
§
§
§
§
§

Group Art Unit: Unknown

Examiner: Unknown

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Dear Sir:

CERTIFICATE UNDER 37 CFR 1.10	
I hereby certify that this correspondence and the documents referred to as attached therein are being deposited on April <u>19</u> , 2004 with the United States Postal Service in an envelope as "Express Mail Post Office to Addressee," mailing label No. EV 416701347 US addressed to: Mail Stop Patent Application, Commissioner for Patents, P.O. Box 1450 Alexandria, VA 22313-1450.	
<u>4/19/04</u> Date	<u></u> Signature

CLAIM TO PRIORITY

Applicant(s) reaffirm the claim for the benefit of filing date of the following foreign patent applications referred to in Applicant's Declaration:

Japanese Application Serial Number JP 2003-360793 filed October 21, 2003.

A copy of the application certified by the Japanese Patent Office is enclosed.

Respectfully submitted,


Keith M. Tackett
Registration No. 32,008
MOSER, PATTERSON & SHERIDAN, L.L.P.
3040 Post Oak Blvd. Suite 1500
Houston, TX 77056
Telephone: (713) 623-4844
Facsimile: (713) 623-4846
Agent for Applicants

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 1 0 月 2 1 日
Date of Application:

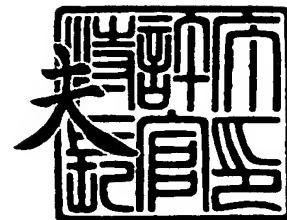
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 3 6 0 7 9 3
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 3 6 0 7 9 3]

出 願 人 株式会社壽
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 2 月 1 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康



【書類名】 特許願
【整理番号】 KB03-11
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 B43L 19/00
B05C 17/00
B65H 35/07

【発明者】
【住所又は居所】 埼玉県川越市鯨井 1 3 8 番地 株式会社壽 川越工場内
【氏名】 山下 浩次郎

【特許出願人】
【識別番号】 000156134
【氏名又は名称】 株式会社壽

【代理人】
【識別番号】 100097250
【弁理士】
【氏名又は名称】 石戸 久子

【選任した代理人】
【識別番号】 100101111
【弁理士】
【氏名又は名称】 ▲橋▼場 満枝

【選任した代理人】
【識別番号】 100101856
【弁理士】
【氏名又は名称】 赤澤 日出夫

【選任した代理人】
【識別番号】 100103573
【弁理士】
【氏名又は名称】 山口 栄一

【手数料の表示】
【予納台帳番号】 038760
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】
【物件名】 特許請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

基材テープに塗膜を備えた転写テープを繰り出す繰出部と、転写テープを被転写面に押圧して塗膜を転写する転写ヘッドと、転写後の転写テープを巻き取る巻取部と、からなる塗膜転写セットを複数個備えて、複数のセットの転写テープの塗膜を被転写面に選択的に転写し得るようにしたことを特徴とする塗膜転写具。

【請求項 2】

各塗膜転写セットの転写ヘッドは、塗膜転写具本体の両端部に配置されることを特徴とする請求項 1 記載の塗膜転写具。

【請求項 3】

前記複数の塗膜転写セットは、塗膜転写具本体の両端部を結ぶ仮想線にほぼ沿って、並設されることを特徴とする請求項 2 記載の塗膜転写具。

【請求項 4】

前記複数の塗膜転写セットは、塗膜転写具本体の両端部を結ぶ仮想線に直交する方向に互いに重なり合うようにして配設されることを特徴とする請求項 2 記載の塗膜転写具。

【請求項 5】

異なる塗膜転写セットのリール同士が隣接するようにして配置されることを特徴とする請求項 4 記載の塗膜転写具。

【請求項 6】

前記複数の塗膜転写セットは、塗膜転写具本体の両端部を結ぶ仮想線に直交する方向に沿って並設されることを特徴とする請求項 2 記載の塗膜転写具。

【書類名】明細書

【発明の名称】塗膜転写具

【技術分野】

【0001】

本発明は、修正用、接着用、マーカー（ハイライター）用等の任意の塗膜を備えた転写テープを被転写面に転写する塗膜転写具に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、筆記時の誤字の修正のための修正具としては修正液を塗布するタイプのものが知られていたが、このような液体塗布タイプは、塗布液が乾燥するまでに時間がかかり、すぐに修正後の文字を修正箇所の上に筆記することができないという問題があった。

【0003】

このような不具合を解決するためのものとして任意の塗膜を備えた転写テープを被転写面に転写するタイプの塗膜転写具が使用されるようになっており、さまざまな形状・構造のものが提案されている（例えば、特開2000-59692号公報、特開平10-119489号公報、意匠登録第1059863号公報、意匠登録第1085305号公報、意匠登録第1089536号公報等。）。

さらに、このような塗膜転写具においては、同時に使用される可能性の高いペンなどの筆記具と一体になった塗膜転写具も提案されている（例えば、特開平10-25056号公報、特表2003-511265号公報。）。

【0004】

【特許文献1】特開2000-59692号公報

【特許文献2】特開平10-119489号公報

【特許文献3】意匠登録第1059863号公報

【特許文献4】意匠登録第1085305号公報

【特許文献5】意匠登録第1089536号公報

【特許文献6】特開平10-25056号公報

【特許文献7】特表2003-511265号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明は、塗膜転写具のさらなる改良を図り、より使い勝手の良い塗膜転写具を提供することをその目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明のうち請求項1記載の発明は、基材テープに塗膜を備えた転写テープを繰り出す繰出部と、転写テープを被転写面に押圧して塗膜を転写する転写ヘッドと、転写後の転写テープを巻き取る巻取部と、からなる塗膜転写セットを複数個備えて、複数のセットの転写テープの塗膜を被転写面に選択的に転写し得るようにしたことを特徴とする。

【0007】

請求項2記載の発明は、請求項1記載の各塗膜転写セットの転写ヘッドが、塗膜転写具本体の両端部に配置されることを特徴とする。

【0008】

請求項3記載の発明は、請求項2記載の前記複数の塗膜転写セットが、塗膜転写具本体の両端部を結ぶ仮想線にはほぼ沿って、並設されることを特徴とする。

【0009】

請求項4記載の発明は、請求項2記載の前記複数の塗膜転写セットが、塗膜転写具本体の両端部を結ぶ仮想線に直交する方向に互いに重なり合うようにして配設されることを特徴とする。

【0010】

請求項5記載の発明は、請求項4記載のものにおいて、異なる塗膜転写セットのリール同士が隣接するようにして配置されることを特徴とする

【0011】

請求項6記載の発明は、請求項2記載の前記複数の塗膜転写セットが、塗膜転写具本体の両端部を結ぶ仮想線に直交する方向に沿って並設されることを特徴とする。

【発明の効果】

【0012】

本発明によれば、それぞれセットによって寸法、色、種類等の属性の異なる塗膜を備えた転写テープを繰出し、そして、転写後の転写テープを巻き取ることによって、様々な塗膜を被転写面に転写することができるようになる。

【0013】

従来は、塗膜としては1つの塗膜転写具に対して1つであるため、例えば被転写箇所の大きさに合致しない塗膜を転写せざる得ず、例えば、行間が狭い文章の一部に太い塗膜を転写すると、隣接する上下の行までにはみ出して転写せざる得ない。同様に、接着すべき箇所からはみ出して余計な部分まで接着用塗膜を転写せざる得ない。

【0014】

しかしながら、本発明では、例えば、それぞれのセットに幅の異なる塗膜を備えた転写テープを割り当てると、転写すべき箇所の大きさに適合する幅の転写テープを割り当てたセットの転写ヘッドで転写テープを押圧することによって、被転写箇所に適した塗膜を転写することができる。こうして、使い勝手が改善された塗膜転写具とすることができる。

【0015】

または、例えば、それぞれのセットに色の異なる塗膜を備えた転写テープを割り当てると、転写すべき箇所に適合する色の転写テープを割り当てたセットの転写ヘッドで転写テープを押圧することによって、被転写箇所に適した塗膜を転写することができる。

【0016】

さらには、すべてのセットで、同じ属性の塗膜を備えた転写テープを備えた場合にあっては、使用期間をセットの数倍とすることができる。

こうして、使い勝手が改善された塗膜転写具とすることができる。

【0017】

セットによって割り当てる転写テープの組み合わせ例としては、同じ種類の転写テープで幅または色等の異なる転写テープの組み合わせとしてもよいし、または異なる種類の転写テープ（例えば、修正用と接着用、または修正用とマーカー（ハイライター）用等）の組み合わせとしてもよい。尚、この特許の請求の範囲及び明細書の「塗膜転写具本体の両端部を結ぶ仮想線に直交する方向」とは、おおよそ直交するという意味であり、厳密に90度をのみに限定する意味ではないことは、本発明の趣旨から明らかであろう。

【発明を実施するための最良の形態】

【0018】

以下、図面を用いて本発明の実施の形態を説明する。

【0019】

(第1実施形態)

図1ないし図3は、本発明の第1実施形態による塗膜転写具を表す図である。図示したように、この塗膜転写具10は、塗膜転写具本体を構成するケース12を備えており、ケース12内には、2つの塗膜転写セット14A、14Bが設けられている。それぞれのセット14A、14Bは、主として、基材テープに塗膜を備えた転写テープ16A、16Bが巻き付けられて、使用時にその転写テープを繰出す繰出リール（繰出部）18A、18Bと、転写テープ16A、16Bを被転写面に押圧して塗膜を転写する転写ヘッド17A、17Bと、転写後の転写テープ16A、16Bを巻き取る巻取リール（巻取部）20A、20Bと、を備えている。また、繰出リール18A、18Bと巻取リール20A、20

Bは、それぞれ回転可能なるように、それぞれのボス部がケース12に軸受されている。そして、繰出リール18Aと巻取リール20Aの間には、これらを連動して回転させるための回転伝達機構22Aが、繰出リール18Bと巻取リール20Bとの間には、これらを連動して回転させるための回転伝達機構22Bが設けられる。この例の場合には、回転伝達機構22Aは、繰出リール18Aと巻取リール20Aにそれぞれ一体的に形成されたプーリ部19Aとプーリ部21Aに渡り、掛け渡された無端状のゴムベルト24Aから構成され、回転伝達機構22Bは、繰出リール18Bと巻取リール20Bにそれぞれ一体的に形成されたプーリ部19Bとプーリ部21Bに渡り、掛け渡された無端状のゴムベルト24Bから構成される。これらのゴムベルト24A、24Bは、繰出リール18A、18Bに発生した巻き解き方向の回転力を巻取リール20A、20Bの巻取方向の回転力と、スリップを許容しつつ伝達する役割を果たしている。回転伝達機構22A、22Bは、公知のようにギアとスリップ機構から構成することも可能である。

【0020】

この例では、ケース12は、流線型を帯びた形状をなした長細い形状となっており、その下面は凹状となっており、持ちやすい形状となっている。ケース12は、転写テープ16A、16Bの残量が外部から分かるように透明であるとよい。

【0021】

前記転写ヘッド17A、17Bは、ケース12に軸支されており、その先端がケース12の両端から突出しており、この軸支部分を中心として、撓むことができるストリップ状のものとなっている。勿論、このようなストリップタイプのヘッドに限らず、ローラタイプのヘッドとすることも可能である。また、突出する転写ヘッド17A、17Bを非使用時に保護するべくケース12の両端部にキャップ26A、26Bを被着することができる。

この例では、転写テープ16Aと転写テープ16Bは互いに異なる幅の修正用の塗膜を備えた転写テープとなっている。

【0022】

以上のように構成される塗膜転写具10を使用する際には、ケース12から突出する転写ヘッド17A、17Bを適宜選択し、修正箇所が大きい場合には、転写テープ16Aを転写するべく、転写ヘッド17Aを被転写面に押圧し、修正箇所が小さい場合には、転写テープ16Bを転写するべく、転写ヘッド17Bを被転写面に押圧することができ、これによって修正箇所に適合した塗膜を転写することができ、より使い勝手が向上されている。

【0023】

(第2実施形態)

次に、図4及び図5は、本発明の第2実施形態による塗膜転写具を表す図である。前実施形態と同様の部品は同一の符号を付す。

この塗膜転写具10のケース12内には、2つの塗膜転写セット14A、14Bが設けられている点で第1実施形態と同じであるが、第1実施形態では、この塗膜転写セット14A、14Bが、ケース12の両端を結ぶケース12の長手方向に沿って並設されていたが、この実施形態では、ケース12の両端を結ぶケース12の長手方向に垂直な方向に互いに重なり合うようにして配設されている点で異なっている。従って、それぞれのセット14A、14Bの繰出リール18Aと巻取リール20Bのそれぞれのボスが同軸上にあって相対回転可能に嵌合しており、それぞれがケース12に軸受されている。同様に、巻取リール20Aと繰出リール18Bのそれぞれのボスが同軸上にあって相対回転可能に嵌合しており、それぞれがケース12に軸受されている。

【0024】

このように構成される塗膜転写具においても同様に作用させることができる。この例の場合には、塗膜転写セット14A、14Bが互いに重なり合っているために、ケース12の両端を結ぶ長さを短くすることができる。

【0025】

(第3実施形態)

次に、図6は、本発明の第3実施形態による塗膜転写具を表す図である。前実施形態と同様の部品は同一の符号を付す。

この塗膜転写具10のケース12内には、2つの塗膜転写セット14A、14Bが設けられている点で第1実施形態と同じであるが、第1実施形態では、この塗膜転写セット14A、14Bが、ケース12の両端を結ぶケース12の長手方向に沿って並設されていたが、この実施形態では、ケース12の両端を結ぶケース12の長手方向と直交する方向に沿って並設されている点で異なっている。

【0026】

このように構成される塗膜転写具においても同様に作用させることができる。この例の場合にも、ケース12の両端を結ぶ長さを短くすることができる。

【0027】**(第4実施形態)**

次に、図7は、本発明の第4実施形態による塗膜転写具を表す図である。前実施形態と同様の部品は同一の符号を付す。

この塗膜転写具10のケース12内にも、2つの塗膜転写セット14A、14Bが設けられて、この塗膜転写セット14A、14Bが、ケース12の両端を結ぶケース12の長手方向に沿って並設されている点で第1実施形態と同じであるが、第1実施形態では、各セット14A、14Bの繰出リール18A、18Bと巻取リール20A、20Bとがケース12の長手方向に沿って並設されていたが、この実施形態では、各セット14A、14Bの繰出リール18A、18Bと巻取リール20A、20Bとがケース12の両端を結ぶケース12の長手方向と直交する方向に沿って並設されている点で異なっている。

【0028】

このように構成される塗膜転写具においても同様に作用させることができる。この例の場合にも、ケース12の両端を結ぶ長さを短くすることができる。

【0029】**(第5実施形態)**

次に、図8及び図9は、本発明の第5実施形態による塗膜転写具を表す図である。前実施形態と同様の部品は同一の符号を付す。この実施形態は、第2実施形態と類似しているが、異なる点は、第2実施形態の場合には、塗膜転写セット14A、14Bが互いに重なり合う際に、塗膜転写セット14A、14Bのそれぞれの回転伝達機構22A、22Bが内側に、各リール18(18A、18B)、20(20A、20B)が外側に配置されていたが、この実施形態では、塗膜転写セット14A、14Bが互いに重なり合う際に、塗膜転写セット14A、14Bのそれぞれの回転伝達機構22A、22Bが外側に、各リール18(18A、18B)、20(20A、20B)が内側に配置されており、この場合に、塗膜転写セット14A、14Bの繰出リール18Aと巻取リール20B、繰出リール18Bと巻取リール20Aが隣接しており、このために、これらの間は例えば共通の仕切板23によって仕切られるだけとすることができ、これによって、ケース12の厚みを薄くすることができる。尚、繰出リール18Aと巻取リール20Bのそれぞれのボスが同軸上にあって相対回転可能に嵌合しており、それぞれがケース12に軸受され、巻取リール20Aと繰出リール18Bのそれぞれのボスが同軸上にあって相対回転可能に嵌合しており、それぞれがケース12に軸受されているのは、第2実施形態と同様である。

【0030】

尚、以上の例では、それぞれの塗膜転写セット14A、14Bの転写テープ16A、16Bの塗膜の例として、幅の異なる塗膜の組み合わせとされていたが、これに限るものではなく、色が異なったり、または種類(例えば、修正用と接着用、または修正用とマーカー(ハイライター)用等)が異なる組み合わせとすることが可能であり、1つの塗膜転写具によって色々と使い分けることができるため、便利である。

【0031】

尚、以上の実施形態では、塗膜転写具本体を構成するケース12は一つの部材であった

が、これに限るものではなく、複数の部材から構成する事が可能であり、さらには、複数のセットの互いの干渉を防ぐために適宜、セットの間に少なくとも一部仕切り板を設けることも可能である。また、以上の実施形態は、使い捨てのものを前提としていが、これに限るものではなく、ケース 12 から各塗膜転写セット 14 A、14 B を適宜取り外して、交換するように構成することも可能である。

【0032】

さらには以上の実施形態では、それぞれ転写ヘッド 17 A、17 B は、ケース 12 の両端部、即ち、ケース 12 の周囲のほぼ対向する位置に配置されていたがこれに限るものではなく、転写ヘッド 17 A、17 B を、ケース 12 の周囲の対向しない異なる位置に配置することも可能である。その場合、一方の転写ヘッド 17 を使用する際に、他方の転写ヘッド 17 が邪魔にならないように、それぞれの転写ヘッド 17 A、17 B の位置を適度に離間させて、さらに望ましくは、ケース 12 を握ったときに各転写ヘッド 17 A、17 B を被転写面に押圧するために傾けるケース 12 の傾斜角度が、互いに十分異なるように設定するとよい。さらには以上の実施形態では、転写ヘッド 17 A、17 B は 2 つであったが、これに限るものではなく、3 つ以上とすることも可能である。この場合も、複数の転写ヘッドの位置を、ケース 12 を握ったときにそれぞれの転写ヘッドを被転写面に押圧するために傾けるケース 12 の傾斜角度が、互いに十分異なるように設定するとよい。

【図面の簡単な説明】

【0033】

【図 1】本発明の第 1 実施形態による塗膜転写具を表す正面図である。

【図 2】図 1 の内部構造を表す断面図である。

【図 3】図 1 の内部構造を表す底面方向から見た断面図である。

【図 4】本発明の第 2 実施形態による塗膜転写具の内部構造を表す断面図である。

【図 5】図 4 の内部構造を表す底面方向から見た断面図である。

【図 6】本発明の第 3 実施形態による塗膜転写具の内部構造を表す断面図である。

【図 7】本発明の第 4 実施形態による塗膜転写具の内部構造を表す断面図である。

【図 8】本発明の第 5 実施形態による塗膜転写具の内部構造を表す断面図である。

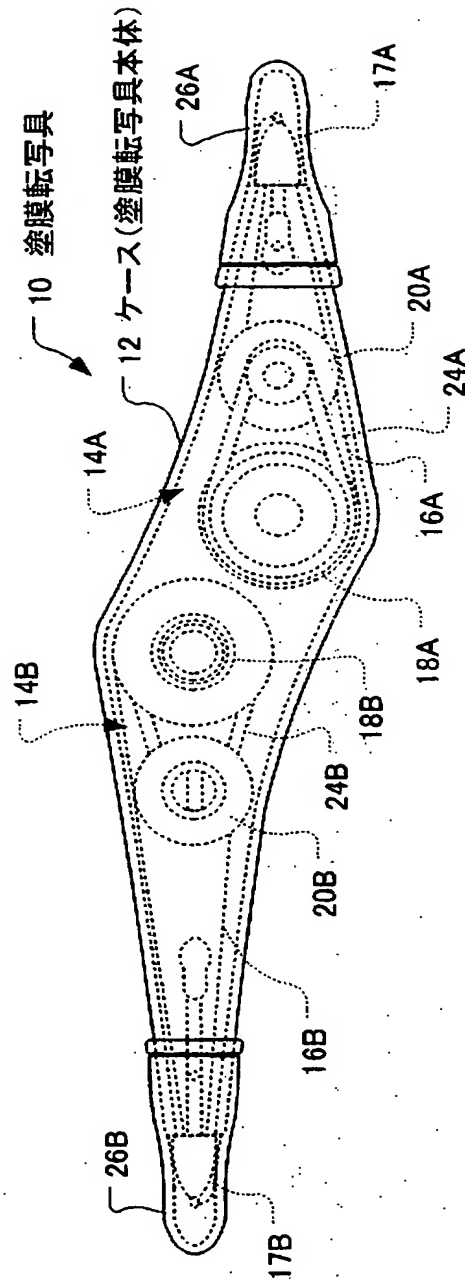
【図 9】図 8 の内部構造を表す底面方向から見た断面図である。

【符号の説明】

【0034】

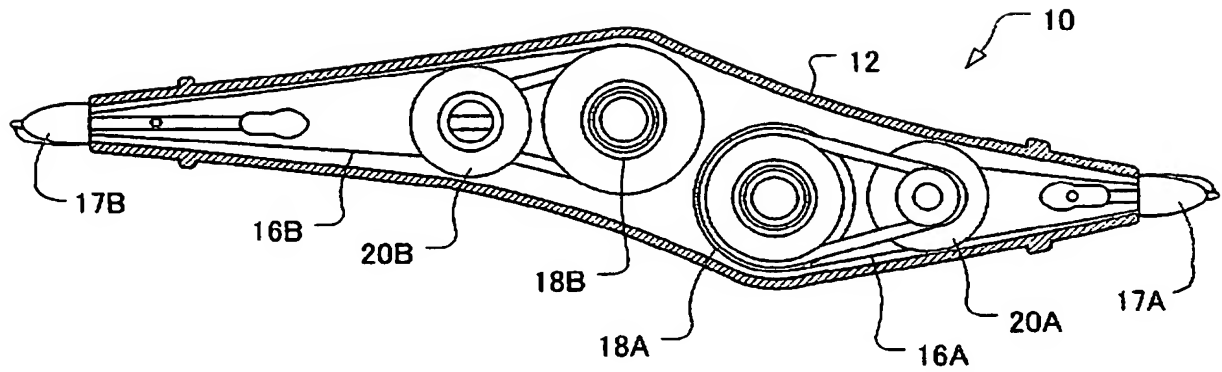
- 10 塗膜転写具
- 12 ケース（塗膜転写具本体）
- 14 A、14 B 塗膜転写セット
- 16 A、16 B 転写テープ
- 17 A、17 B 転写ヘッド
- 18 A、18 B 繰出リール（繰出部）
- 20 A、20 B 巻取リール（巻取部）

【書類名】 図面
【図 1】

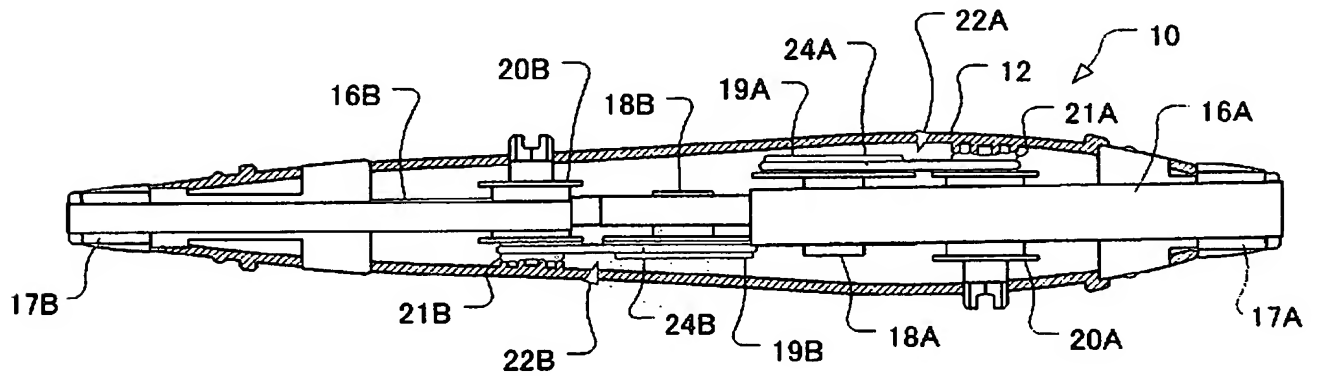


- 14A、14B 塗膜転写セット
- 16A、16B 転写テーク
- 17A、17B 転写ヘッド
- 18A、18B 繰出リール(繰出部)
- 20A、20B 巻取リール(巻取部)

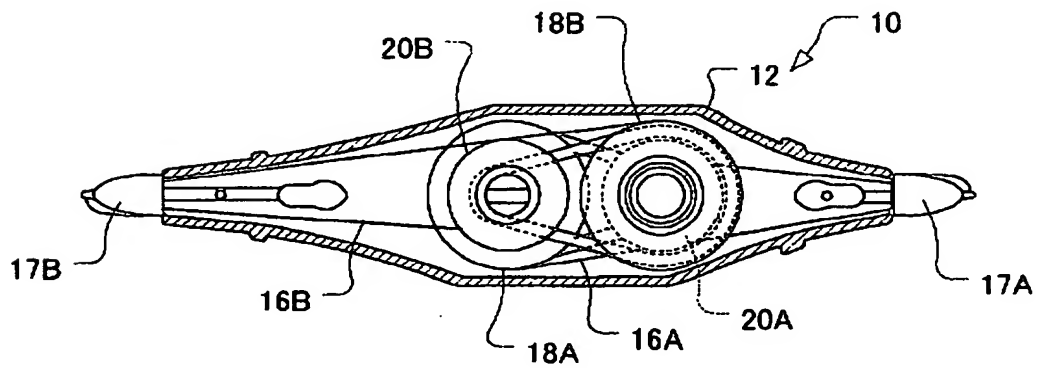
【図 2】



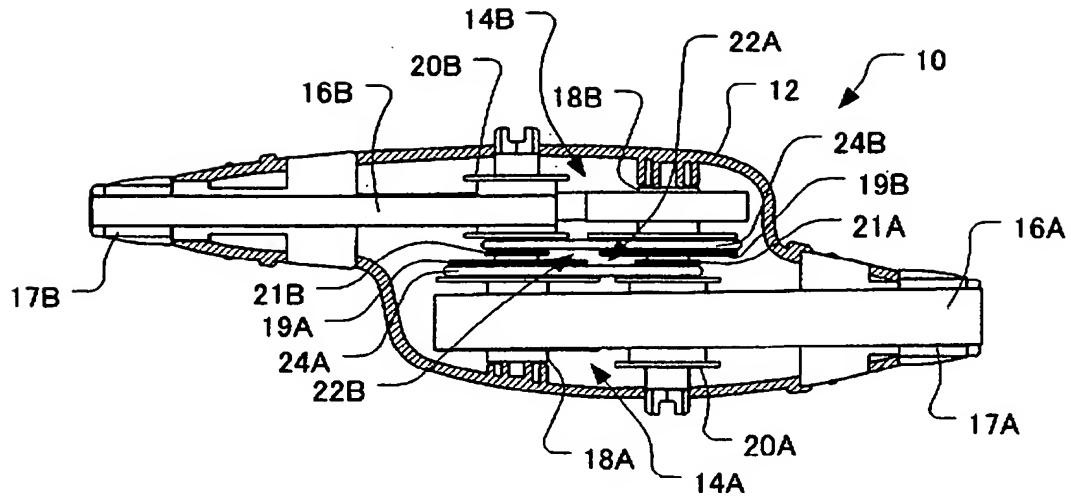
【図 3】



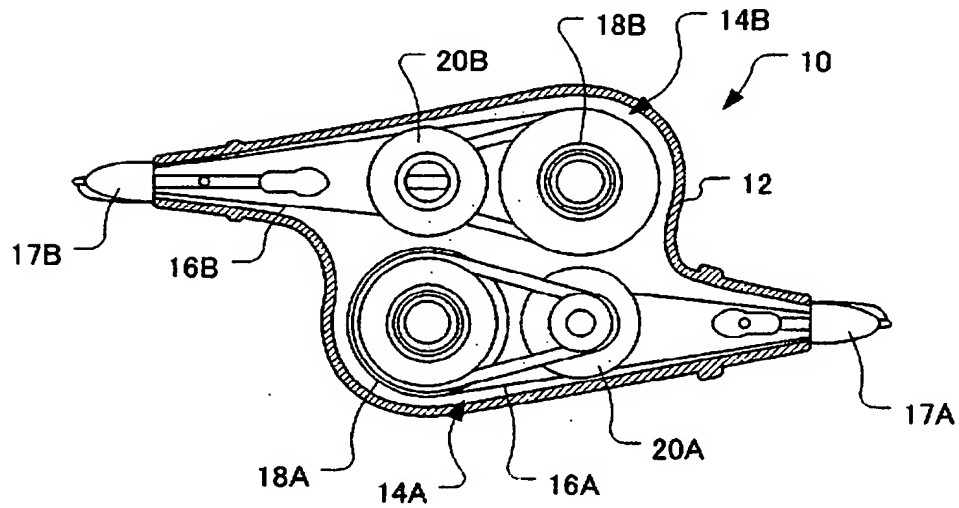
【図 4】



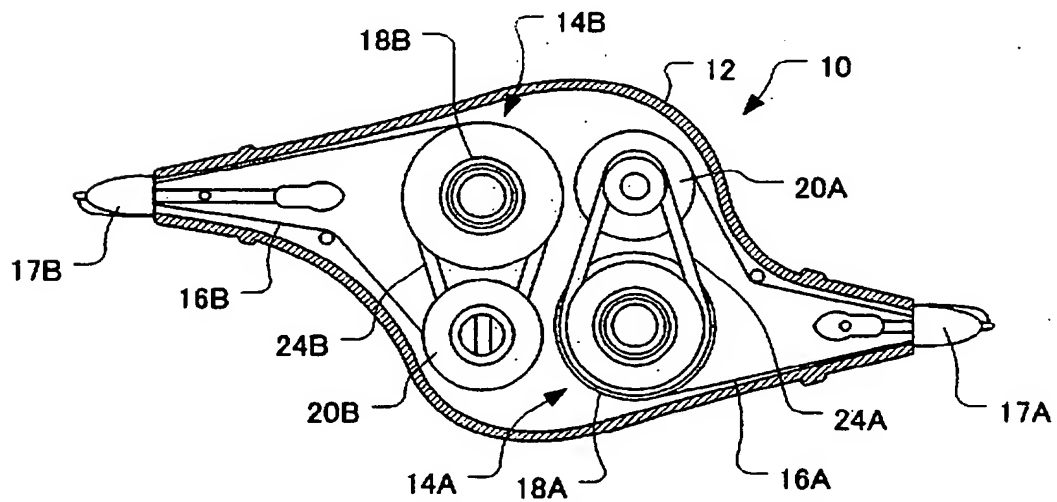
【図 5】



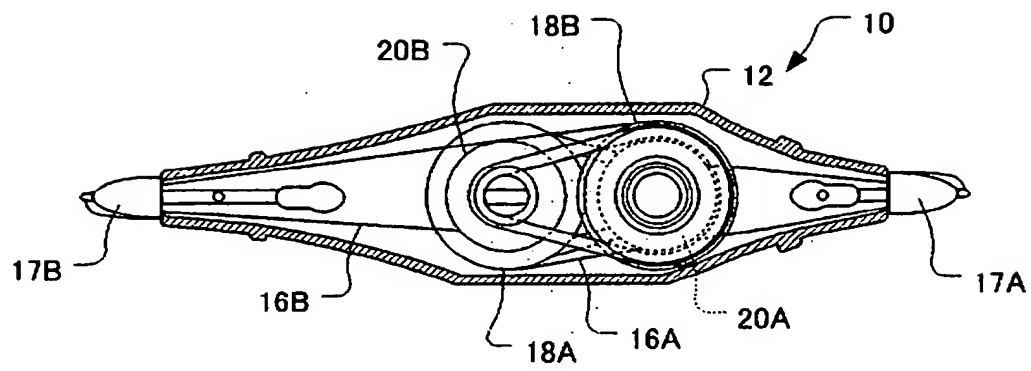
【図 6】



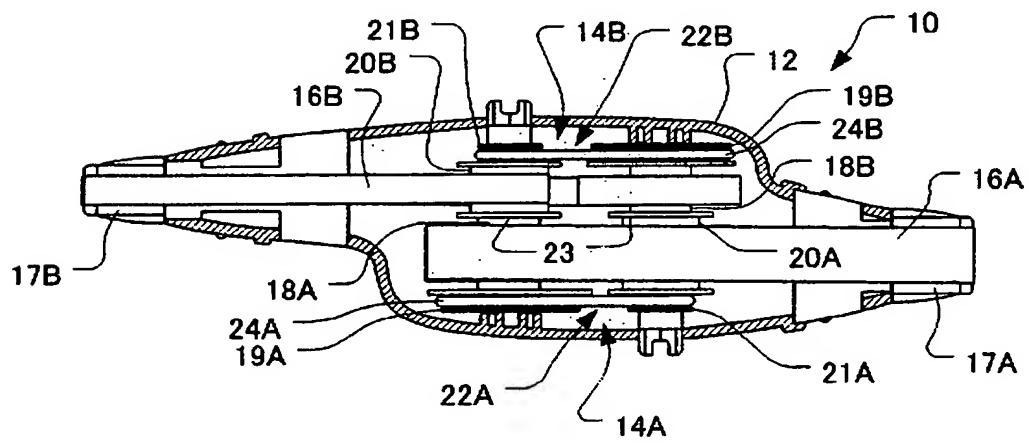
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 塗膜転写具のさらなる改良を図り、より使い勝手の良いものとする。

【解決手段】 この塗膜転写具 10 は、塗膜転写具本体を構成するケース 12 を備えており、ケース 12 内には、2つの塗膜転写セット 14 A、14 B が設けられている。それぞれのセット 14 A、14 B は、主として、基材テープに塗膜を備えた転写テープ 16 A、16 B が巻き付けられて、使用時にその転写テープを繰出す繰出リール（繰出部） 18 A、18 B と、転写テープ 16 A、16 B を被転写面に押圧して塗膜を転写する転写ヘッド 17 A、17 B と、転写後の転写テープ 16 A、16 B を巻き取る巻取リール（巻取部） 20 A、20 B と、を備えている。転写テープ 16 A と転写テープ 16 B は互いに異なる幅の修正用の塗膜を備えた転写テープとなっており、転写箇所に応じて、適宜、選択して使用可能となっている。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2003-360793
受付番号	50301745562
書類名	特許願
担当官	第二担当上席 0091
作成日	平成15年10月22日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成15年10月21日

特願 2 0 0 3 - 3 6 0 7 9 3

出 願 人 履 歷 情 報

識別番号

[0 0 0 1 5 6 1 3 4]

1 . 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 1 3 日

[変更理由]

新規登録

住 所

京都府京都市北区紫竹西栗栖町 1 3

氏 名

株式会社壽